

2013年4月 入職 / (理学療法士)

新卒で入職し、今年で10年目となります。
働く中で運動器疾患に興味を持ち、日本理学療法士協会の定める運動器認定理学療法士の資格を取得しました。



Q1 : 当院 リハビリテーション科の良いところ、おすすめポイントを教えてください。

ともに成長出来るというポイントです。当院は亜急性期から回復期の患者様や、療養目的の維持期の患者様、外来患者様、訪問リハビリ利用者様と様々な患者・利用者様がいらっしゃいます。そのため幅広く、患者・利用者様に適応する能力が必要となります。そのため、各病棟やチームに配属されることで、興味を持っていなかった分野でも、その配属先で興味を持ち自身の成長を感じられます。また自身の成長だけでなく、私が入職した時に比べリハビリテーション室は約2倍の大きさになったり、小児リハビリや腎臓リハビリが始まったりとリハビリテーション科としても成長をしています。

Q2 : 職場の雰囲気はどうか。

1年目の頃より感じているのは仲の良い職場であるということです。現在は新型コロナウイルスにより自粛しておりますが、感染拡大前は新年会をはじめ、夏にはBBQ、冬には忘年会を開催し親睦を深めておりました。

Q3 : リハビリ専門職・医療従事者ですが、この仕事のやりがいを感じる時はどんな時で

患者様、利用者様の生活が良い方向に改善したときです。痛みが無くなったから趣味を再開できるようになった、歩けるようになった、乗車が軽くなったから外出しやすくなった等、“生活が変化していく”ということに携われているとき、やりがいを感じます。

Q4 : 働くうえで大切にしていること、心掛けていることを教えてください。

相手の立場になって考えるように心掛けています。理学療法における動作観察・分析においても、この動作の意味は何なのか、なぜこのような動かし方をするのか、このようにしか動かせないのか、このようにあえて動かしているのか等、相手の立場になり考えるように心掛けています。また、これは理学療法場面だけでなく、家族、他部署との連携においても、相手が求めている情報は何か、カンファレンスで家族が知りたいことは何か、と相手の立場になって考えるように心掛けています。

Q5 : 入職のきっかけを教えてください。

大学時代に動作観察の必要性を学び、動作観察をメインとしたリハビリを提供している病院に就職したいと考えておりました。その中でポートアイランド病院を知りました。同じ系列の病院に実習に行っていたこともあり、動作観察をメインとした評価を行っていることは知っていました。また開院して間もないことから、これから共に成長できると感じ入職致しました。

Q6 : 仕事以外の時間はどのように過ごしていますか。それは充実していますか。

昨年に娘が生まれたため、娘と一緒に過ごしております。家族で買い物に行ったり、家でまったりしたり充実した休日を過ごしております。また最近、動画配信サービスを用いた研修動画を見られる環境が出来たため、電車移動時等に配信動画を視聴し自己研鑽に励んでいます。